



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり

② 確かな学力の育成

③ 健やかな身体の育成

④ 豊かな心の育成

⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



生徒会役員選挙が 始まりました!

道志中学校の新しいリーダーを決めるため、生徒会役員選挙が行われます。10月9日(水)の選挙告示以降、現生徒会役員の生徒や、新たに生徒会役員になることを志す生徒の立候補がありました。

今年の1・2年生も、道志中学校の代表として、全校を引っ張っていきとうい、強い意志を持った生徒がたくさんいます。



これは、大変嬉しく、誇らしいことです。3年生を中心とした現生徒会役員が、良き手本を示してくれたおかげです。先輩から受け継がれてきた生徒会役員としての姿勢や活動が、このような成果を生んだのでしょうか。

いよいよ選挙活動がスタートします。それぞれの願いや思いは異なるかもしれませんが、学校生活をより楽しく、より良いものにしていきとうとする気持ちは共通していることでしょう。全校の皆さんには、候補者の願いや思いをしっかりと受け止めて、これからの道志中学校を考える機会としてください。

読書の秋

「この一行に逢いにきた」

11月3日の文化の日を中心に、前後2週間を「読書週間」と言います。終戦まもない1947年(昭和22)年、“読書の力によって、平和な文化国家を作ろう”という決意のもと、第1回が開催されました。翌年の第2回からは、10月27日～11月9日の2週間と定められ、この運動は全国に広がりました。今年で78回目

を迎え、「この一行に逢いにきた」は、今年の読書週間の標語入選作です。この標語の作者は「本の中にグッとくる一行があつて、何度も何度も目でなぞり、ついには暗記してしまう。作者はこの一行のためにこの本を書いていて、読者はこの一行に出逢うため読んでいるのだと思うとき、幸福になる自分がいます。」と標語に込めた意図を語っています。

本校では、毎朝8時25分から8時35分の10分間を「朝読書」とし、読書をしています。各自で読みたい本を持ってきたり、学校の図書の中から好きな本を選んだりして、読書に親しむ時間としています。たかが10分、されど10分。「継続は力なり」というように、朝のひと時を大切に、読書の習慣づくりをしています。

世の中には、一生かけても読み切れないほどの本があります。読書は、日常では体験できないような世界を感じたり、知ったりすることができます。秋の深まりと共に、素敵な本(一行)に出逢い、本からの学びが深まることを期待しています。

研究の成果を披露しました!



10月16日(水)、公开发表会を行いました。これまでの校内研究の成果を披露することができました。多くの教育関係者の皆さんが参観する中で、授業を行いました。お褒めの言葉や激励の言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。